

[illegible]

Ⅱ 各部評価（各部による自己評価）

施策の進捗
・銭函地区河川防災事業及び沈砂池しゅんせつ等工事費の事業において緊急浚渫推進事業債を活用し、計画的に継続していくことができる。 ・橋りょう長寿命化事業において道路メンテナンス事業補助を活用し、小樽市橋梁長寿命化修繕計画に基づき継続的に進めていく。 ・臨時市道整備事業において地方道路等整備事業債及び緊急自然災害防止対策事業債を活用し、計画的に継続していく。
効果の発現状況
・計画的に浚渫を行うことにより、海域への泥水や濁水の流出を防止し、環境や水質を保全することができている。 ・橋梁長寿命化修繕計画を策定し、計画的な修繕を実施することで、維持管理コストの縮減を図りつつ、道路交通安全の安全性や信頼性を確保し、予防保全が図られている。 ・計画的に舗装・側溝等を修繕することにより、道路交通安全の安全性や信頼性を確保し、予防保全が図られている。
構成事業の妥当性
・銭函地区河川防災事業及び沈砂池しゅんせつ等工事費の事業においては継続的に事業を進めていく必要がある。 ・策定した計画に基づき適切な修繕を行うことで、橋梁の長寿命化と維持管理コストの縮減を図り、将来にわたり安全・安心な道路網を確保する必要がある。 ・臨時市道整備事業においては、継続的に事業を進めていく必要がある。
その他（必要に応じて記載）



今後の施策改善の方向性
・緊急浚渫推進事業債の活用により、計画的に浚渫を継続することができる。 ・今後も適切な時期に計画を見直すことで、コスト縮減を図りつつ、道路交通安全の安全性を確保する。 ・地方道路等整備事業債及び緊急自然災害防止対策事業債の活用により、計画的に舗装や側溝等の整備を継続することができる。

Ⅲ 二役フィードバック

各部評価に対する意見等